

調合工程誤投入防止システム

ハンディターミナルとバーコードを使って誤投入防止！

概要

調合工程の課題とは



複雑化するレシピに対応できない

- ・少量多品種製造の増加により、原料や製造手順の管理を簡便にしたい。
- ・作業ミスによる品質トラブルを防止したい。



人手による業務負荷が大きい

- ・計量や調合工程で人が介在する作業が多く、ベテラン従業員に頼っており技術継承したい。
- ・帳票作成など人手による業務負荷を減らしたい。



トレーサビリティの仕組みがない

- ・原料から出荷までをスルーして管理する仕組みを構築したい。
- ・原料の使用期限管理をしたい。

調合工程誤投入防止システムとは

多様化する消費者ニーズに応えるため製品の少量多品種化が増えています。そのため、調合工程の作業ミスによる品質トラブルが大きな問題となっています。

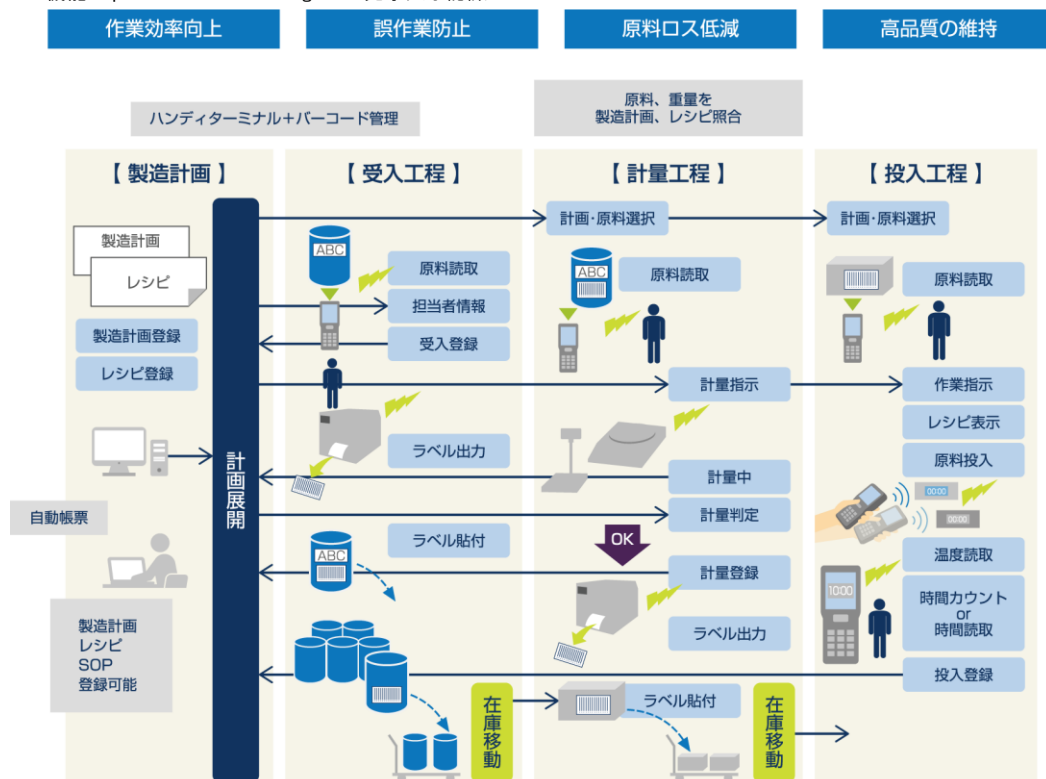
調合工程誤投入防止システムは、ハンディターミナルとバーコード管理で「原料管理」「製造計画連携」「レシピ照合」「作業手順指示」などを行い、受入、計量、投入工程の液体・粉体調合における誤投入を防止します。

これにより、人手による業務負荷低減と製品の品質を高いレベルで確保します。

特長

- ハンディターミナルで読み取った情報、サーバ上の登録情報をバーコード化してラベル発行。
→原料に貼り付けて管理・運用。
- 製品トレーサビリティ、自動帳票作成機能により実績データを記録・管理。
- OCR機能を使った読み取りも可能。

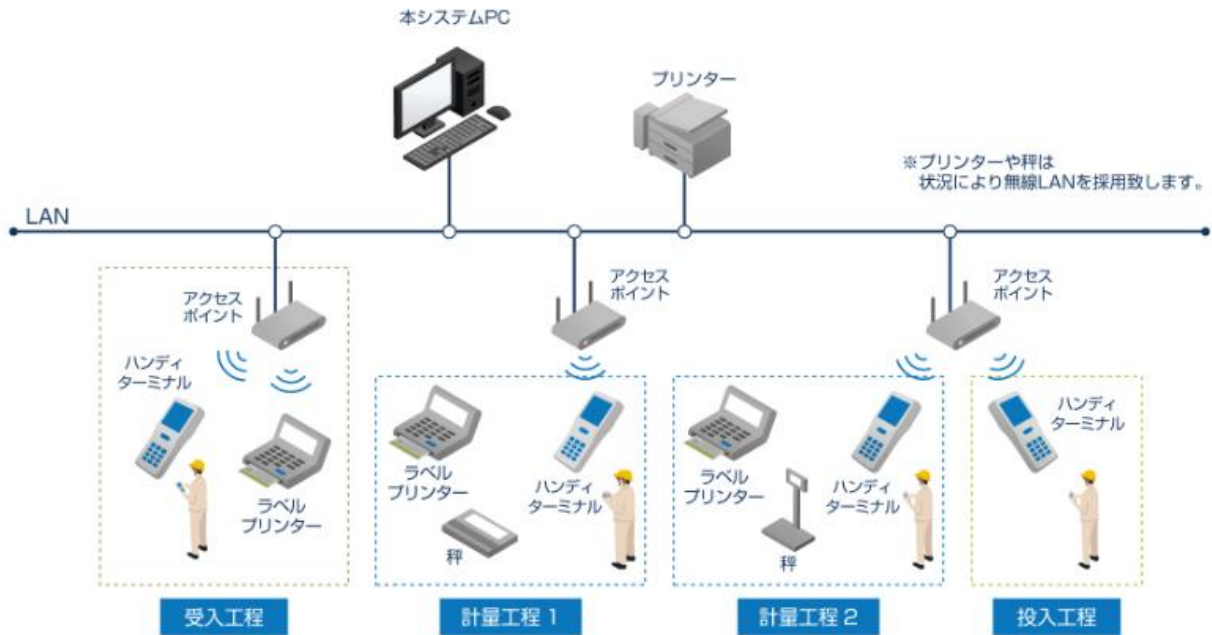
※OCR機能: Optical Character Recognition: 光学文字認識



導入効果

導入前	導入後
紙ベースの手順書やレシビを見ながら調査していたため、作業ミスが多かった。	事前に登録した手順書をハンディターミナル上で確認しながら、調合作業行えるようになった。これにより作業ミスの心配がなくなった。
人が介在する作業が多く、異常時も個人で判断するため、対処に時間がかかった。 製造実績も決められた紙の帳票に手書きしていたため転記が必要だった。	異常のレベル（重大、通常、軽微など）ごとに対処できる担当者を設定することで、一個人に依存しない組織的な操業ができるようになった。また、ハンディターミナル上で実績登録をするため、転記の必要がなくなった。
原料開封後の使用期限の管理が難しいため、開封後の余りは処分するケースがあった。	原料の情報を保存し、必要なときにすぐに取り出せるようになった。（トレーサビリティ）

システム構成例



画面例



株式会社 TMEiC

●本カタログのお問い合わせ

営業窓口

技術問い合わせ

本 社：〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン
URL <http://www.tmeic.co.jp>

Tel:03-3277-4991 Fax:03-3277-4574

Tel:03-3277-4440 Fax:03-3277-4572

メールアドレス info-A70-food@tmeic.co.jp

- ・記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・記載されている会社名および製品名などには、必ずしも商標表示(®、™)を付記していません。
- ・本カタログに記載された内容および製品仕様は、予告なく変更することがあります。



安全に関するご注意

正しくお使いいただくために
ご使用前に必ず「取扱-操作に関する説明書」を
お読み下さい。